

日中韓の観光交流・協力の促進に関する 青島宣言

日中韓3国の観光担当大臣は2007年6月26日、中国において、第二回日中韓観光大臣会合を開催した。会議は中国の山東省青島市にて開幕し、遼寧省大連市にて閉幕、3国の政府側、企業側、マスコミ等関連各組織から600名近い代表が出席した。

私達は中国のたおやかで優美な自然の景色、独特の魅力を持つ人文的景観を十分に目にし、礼儀の国—中国の人々の温かいもてなしの心を感じた。中国の子どもたちの熱烈な歓迎は、我々の心に深い印象を残した。私達は、中国政府による全面的な支援、特色に富んだ観光資源、日に日に整いつつある観光施設ゆえに、主催者を含めた中国の観光の将来に大きく期待し、明るい見通しを抱いている。主催国が今回の会合ならびに関連の活動のためになされた努力と温かいもてなしに感謝する。

3国間の観光をめぐる交流ならびに協力をいっそう促進し、観光を懸け橋として3国の国民の往来を拡大し、互いの理解を深め、相互の友好関係を増進し、地域の経済的繁栄と社会の発展を促進するため、私達は「観光、協力、調和、共益」をテーマに、3国がともに関心を寄せる問題につき、踏み込んだ話し合いを行い、以下のような共通の認識を得るに至った。

私達は、日中韓観光大臣会合のメカニズムがスムーズに運営され、豊富な内容を持ち、顕著な成果をあげている、という点で一致した認識を持っている。第一回日中韓観光大臣会合以来、3国間の観光交流は著しく強化され、観光協力は明らかに深まり、地域のインタラクティブがより頻繁に行われ、人々の行き来がいつそう密接に行われるようになり、『日中韓域内外観光交流拡大計画』の各措置も順調に進展して、3国間の観光交流・協力は推進されてきた。2006年には、3国間の人々の往来の規模はのべ1,384万人に達して、前年比で11%増となり、2010年ののべ1,700万人の目標実現に向けてたしかな一歩が踏み出された。3国の観光部門は引き続き努力し、ともに行動を採って、持続的な成長を実現するよう努めていかねばならない。

私達は、3国が観光交流・協力を強化することが大変重要である、という点で一致した認識を持っている。3国は地理的に隣接し、相互の友好的交流の歴史は長い。とりわけ近年、3国の観光、経済貿易、教育、スポーツ、民間航空等各分野における交流と協力は日増しに活発化し、互いに促進しあっている。世界的に観光面での競争が日増しに激化している現在、3国は互いに重要な観光の送客力を持つ大国であって、相互に依存し、共通する多くの課題に直面している。それゆえに、3国間の観光交流・協力の強化はとりわけ必要とされる。

私達は、3国間でますます深まる観光交流は、アジアないしは世界の観光に対して積極的な影響をあたえるものである、と考える。3国はいずれも、世界で経済が最も活発な東アジア太平洋地域に位

置するが、それはアジアの観光経済の繁栄を推進する上で重要な力であり、また、世界の観光市場において成長性が高く、極めて大きな潜在力を備えた重要な観光エリアでもある。3国の観光の急速な発展は、アジアの観光のイメージを高め、世界の観光に新しい局面を作り出す上で積極的な影響を与える。3国が実施する観光国際連携は、世界の観光国際連携の重要な構成部分である。

私達は、友好、協力、調和、共益が3国が共同で遵守すべき基本的原則であり、観光の交流をいっそう拡大し、3国の国民の間の理解、友好を増進すべきであると考えます。3国間の観光業の交流において、友好は基調であり、調和は前提であり、協力は動力であり、共益は目標である。3国の国民の往来を拡大することには独特の作用がある。それは国民の友情を伝え、文化の魅力を相互に享受するための重要なルートであり、また、地域ごとのメリットの集大成、経済的活力を示し、世界に東アジアのイメージを宣伝する重要な手段でもある。私達はまた、観光は平和を賞賛し、友情を伝え、その発展は直接世界の平和に依拠していることを認識している。私達はいかなる形式のテロリズムにも反対する。誰がどんな目的で行ったとしても、テロは厳しく糾弾されるべきものである。

私達は、観光は環境と互いに依存しあうものであり、互いに補いあってよりよい結果を残すものであると考えます。環境の悪化が世界的な問題となっているが、地球の温暖化によって人類は共通の問題に直面している。それはまた世界の観光の発展を脅かすものである。3国は、観光業が環境保護の面で果たす役割に着目して、観光業をさらに環境に優しい産業、資源節約型産業としていくとともに、観

光業を発展させていくためには、環境への配慮を、計画的、継続的、統一的に進めていかなければならない。また、歴史、伝統、文化を保護していかなければならない。それらは、人と自然の調和の取れた共存の推進、人類全体の美しいふるさとの構築の面で積極的な役割を果たす。観光分野で環境保護の国際協力に力を入れることは、観光業の持続可能な発展のうえで非常に大切である。

私達は、貧困をなくし、地域間の格差を縮め、人々の福祉を増進する上でも、観光は同様に優位性を具えていると考える。観光を発展させれば、就職の機会を多くつくり出すことが可能である。特に、女性、地域住民等の就職の機会をつくり出すことができる。また、関連産業の発展を導いて、さらに住民の所得を増やすことができる。とりわけ、資源が豊富な地域や農村では、観光は資源を有効に活用し、優位性を発揮し、特色を出して、実質的な生産力を形成することで、現地の貧困問題を解決し、発展を実現することができ、新しいスタイル、時代の息吹をもたらすことができる。

私達は、3国の各レベルの地方観光主管部門の間ならびに業界間の交流と協力は3国間の観光交流・協力の重要な部分であると考え、3国はこれを十分に重視し、支持し、奨励して、より豊かな内容、よりスムーズなメカニズム、多種多様な手段を有する観光の交流・協力態勢を徐々に形成していく。

私達は、3国の観光交流を発展推進させるための措置を、着実かつ効率的に検討、実施すべき、という点で一致している。「2007年の日中国交正常化35周年記念交流事業」、「2007年日韓朝鮮通信

使400周年記念交流事業」、「中韓国交15周年・中韓交流年『中韓観光週間』」等の交流活動を確実に組織する。

私達はこのほか、3国の今後の協力において次の点を強調すべきであると認識した。

—青少年こそ、3国の共同の未来の基礎であって、青少年の交流を強化することは、3国間の観光交流・協力、3国の友好関係の発展の上で戦略的な意味を持つ。

3国は今後、青少年の間の友好、観光面での往来を拡大し、青少年教育旅行シンポジウムや各地で行われる教員の視察旅行等を奨励することにより、青少年の友好的交流使節をより多く育て、3国間の青少年の交流の規模を拡大する。

—人材こそ3国の観光業にとって重要な保障である。

3国は今後、観光人材育成メカニズムを早急に整え、3国の観光業の長期的な発展を推進する。

—3国の重要な国際的イベントがもたらす機会を分かち合う。

3国は今後、2007年の大阪世界陸上競技選手権大会、神戸・大阪世界華商大会、2008年の北京オリンピック、2009年のソウルロータリー国際大会、2010年の上海世界博覧会、広州アジア大会、平城遷都1300年、2011年の大邱世界陸上競技選手権大会、2014年の仁川アジア大会等のイベントをめぐり、自国の国民が3国の域内外に観光に行くことを奨励するとともに、日中韓域内のイメージを協

力して造り上げて域外の観光客が3国を訪れるよう働きかける双方向交流に取り組む。

－民間団体の交流を強化することは、3国間の観光交流・協力の重要な内容である。

私達は、3国それぞれの国の観光関係民間団体を組織化して構成する3国間の交流協力のメカニズムを構築し、大臣会合のテーマならびに関連の議題をめぐり意見交換を行い、実行に移していく。

－共同で観光の統計を改善する。

3国は観光の基礎資料としての観光の統計を改善し、国連世界観光機関ならびにアジア太平洋経済協力会議の観光の動向に注意を払い、3国の事務的協議を推進する。

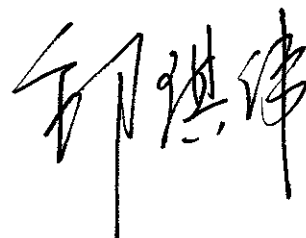
－その他の分野の協力を強化する。

例えば「世界遺産を巡る旅」等を重点として3国の周遊観光型商品をより多く開発する。また、3国は、より多くの国際会議を共同で開催、誘致する。さらに、透明で公正な取引の確保を図り、よりよい観光サービスの提供環境を整備する。3国が観光面での情報化に力を入れ、交通、宿泊、飲食等の消費段階をカバーできる旅行者の利便性を高めるシステムを徐々に構築していくことを提唱し、3国の事務的協議を推進する。

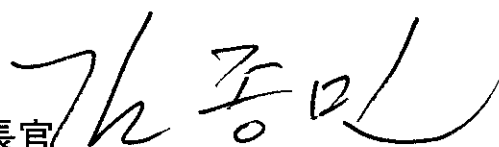
第二回日中韓観光大臣会合は、2008年6月に韓国の釜山、済州、忠清北道にて第三回日中韓観光大臣会合を開催するとの決定を採択した。

本宣言は、2007年6月26日に中国の山東省青島市において、中国語、韓国語、日本語により作成され、これらの価値は同等である。

中華人民共和国国家旅游局局長



大韓民国文化観光部長官



日本国国土交通大臣・観光立国担当大臣

